

議 事 日 程 第 6 号

令和5年9月26日（火）午前10時開議

（決算特別委員長報告）

- 日程第 1 認第 1号 令和4年度米沢市一般会計歳入歳出決算
- 日程第 2 認第 2号 令和4年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算
- 日程第 3 認第 3号 令和4年度米沢市後期高齢者医療費特別会計歳入歳出決算
- 日程第 4 認第 4号 令和4年度米沢市介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算
- 日程第 5 認第 5号 令和4年度米沢市と畜場及び食肉市場費特別会計歳入歳出決算
- 日程第 6 認第 6号 令和4年度米沢市青果物地方卸売市場費特別会計歳入歳出決算
- 日程第 7 認第 7号 令和4年度米沢市物品調達費特別会計歳入歳出決算
- 日程第 8 認第 8号 令和4年度米沢市南原財産区費特別会計歳入歳出決算
- 日程第 9 認第 9号 令和4年度米沢市三沢東部財産区費特別会計歳入歳出決算
- 日程第10 認第10号 令和4年度米沢市山上財産区費会計歳入歳出決算
- 日程第11 認第11号 令和4年度米沢市水道事業会計決算
- 日程第12 認第12号 令和4年度米沢市下水道事業会計決算
- 日程第13 認第13号 令和4年度米沢市立病院事業会計決算
- 日程第14 議第62号 令和4年度米沢市水道事業会計剰余金の処分について

（総務文教常任委員長報告）

- 日程第15 議第50号 市有財産（リチウムイオン電池材料試作拠点用地）の取得の一部変更について
- 日程第16 議第51号 市有財産（リチウムイオン電池材料試作拠点用地）の処分について
- 日程第17 議第52号 米沢市指定金融機関の指定の変更について
- 日程第18 議第53号 米沢市長選挙記号式投票に関する条例の廃止について

（民生常任委員長報告）

- 日程第19 議第54号 米沢市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について
- 日程第20 議第55号 米沢市立病院使用料及び手数料条例の一部改正について

（産業建設常任委員長報告）

- 日程第21 議第56号 財産（圧雪車）の取得について
 日程第22 議第57号 財産（小型ロータリ除雪車）の取得について
 日程第23 議第58号 市道路線の認定について

（予算特別委員長報告）

- 日程第24 議第59号 令和5年度米沢市一般会計補正予算（第6号）
 日程第25 議第60号 令和5年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）
 日程第26 議第61号 令和5年度米沢市介護保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）
 日程第27 議第63号 令和5年度米沢市一般会計補正予算（第7号）
 日程第28 発議第6号 燃油価格の抑制を求める意見書の提出について
 日程第29 議員派遣について

~~~~~

**本日の会議に付した事件**

議事日程第6号と同じ

~~~~~

出欠議員氏名

出席議員（24名）

1番	佐野洋平	議員	2番	成澤和音	議員
3番	高橋千夏	議員	4番	関谷幸子	議員
5番	高橋英夫	議員	6番	高橋壽	議員
7番	小久保広信	議員	8番	影澤政夫	議員
9番	山村明	議員	10番	堤郁雄	議員
11番	植松美穂	議員	12番	古山悠生	議員
13番	島貫宏幸	議員	14番	木村芳浩	議員
15番	相田克平	議員	16番	遠藤隆一	議員
17番	太田克典	議員	18番	我妻徳雄	議員
19番	山田富佐子	議員	20番	佐藤弘司	議員

21番 鳥海隆太 議員 22番 島軒純一 議員
23番 齋藤千恵子 議員 24番 工藤正雄 議員

欠席議員 (なし)

出席要求による出席者職氏名

市長	中川勝	副市長	大河原真樹
総務部長	神保朋之	企画調整部長	遠藤直樹
市民環境部長	佐藤明彦	健康福祉部長	山口恵美子
産業部長	安部晃市	建設部長	吉田晋平
会計管理者	本間加代子	上下水道部長	安部道夫
病院事業管理者	渡邊孝男	市立病院事務局長	和田晋
総務課長	高橋貞義	財政課長	土田淳
政策企画課長	伊藤昌明	教育長	土屋宏
教育管理部長	森谷幸彦	教育指導部長	山口玲子
選挙管理委員会委員長	玉橋博幸	選挙管理委員会事務局長	佐藤幸助
代表監査委員	志賀秀樹	監査委員局長	佐藤徹
農業委員会会長	小関善隆	農業委員会事務局長	小田浩昭

出席した事務局職員職氏名

事務局長	栗林美佐子	事務局次長	細谷晃
議事調査主査	曾根浩司	主査	堤治
主任	齋藤舞有		

午前10時00分 開 議

- 相田克平議長 おはようございます。
ただいまの出席議員24名であります。
直ちに本日の会議を開きます。
本日の会議は議事日程第6号により進めます。

.....

日程第1 認第1号令和4年度米沢市一般
会計歳入歳出決算外13件

- 相田克平議長 日程第1、認第1号令和4年度米沢市一般会計歳入歳出決算から日程第14、議第62号令和4年度米沢市水道事業会計剰余金の処分についてまでの議案14件は、議事の都合により一括議題といたします。

この場合、決算特別委員会における審査の経過と結果について報告願います。

決算特別委員長17番太田克典議員。

〔決算特別委員長17番太田克典議員登壇〕

- 17番(太田克典議員) おはようございます。
御報告申し上げます。

去る8月30日の本会議において、当委員会に付託されました案件は、認第1号から認第13号までの認定案件13件及び議第62号の議決案件1件であります。

当委員会は、議会日程に従い、8日及び11日から13日までの4日間にわたり、委員会室において、全委員出席の下、当局から監査委員、病院事業管理者ほか関係部課長に出席を求め、開会いたしました。

審査に当たっては、認第1号から認第13号まで及び議第62号の付託案件を一括議題とし、当局から各会計の歳入歳出決算概要について説明を受け、続いて、これに対する総括質疑を行い、その後、認第1号令和4年度米沢市一般会計歳入歳出決算の歳出から順次審査を行いました。

なお、各会計決算の内容については、令和4年度米沢市歳入歳出決算書のほか関係附属資料等で全議員御承知のことと存じますので、その詳細については省略し、総括質疑及び各会計決算審査の中でありました質疑等の主なものを取りまとめて、御報告申し上げます。

審査に先立ち、認第13号令和4年度米沢市立病院事業会計決算に関する市長からの議案の訂正の申出について当局から説明がありました。

訂正の内容は、貸借対照表の流動資産の未収金のうち、その他未収金の額に誤りがあり、それに伴い流動資産合計及び資産合計についても誤りがあったことから、修正しようとするものであります。

本申出については、質疑もなく、全委員異議なく、承認すべきものと決しました。

初めに、総括質疑では、委員から、監査委員の意見書において、国民健康保険事業勘定特別会計及び介護保険事業勘定特別会計の不用額が増加しており、コロナ禍が事業費の執行に影響を及ぼしたと認められるとしているが、この影響の内容はどのようなものかとの質疑があり、当局から、国民健康保険事業については、コロナ禍で、令和2年度に受診控えがあり保険の給付が減少し、令和3年度はその反動で増加したのに対し、令和4年度は通常に戻りつつあり、令和3年度より支出が減少したこと。また、介護保険事業については、コロナ禍で、デイサービスの利用が一時中止されるなど、介護保険サービスの利用が減少したことなどで不用額が増加したと考えているとの答弁がありました。

このほか、市税の不納欠損額について、公共施設等整備基金等について、種々質疑がありました。

次に、一般会計歳入歳出決算のうち、歳出について申し上げます。

まず、第1款議会費については、質疑がありませんでした。

次に、第2款総務費では、委員から、乗合タク

シー運行事業について、1人での乗車が多いことが課題であるということだが、何名ほどが適切だと考えているか。また、乗合率の向上に向けて、利用者の意識の醸成に力を入れるべきだと思うがどうかとただされ、当局から、なるべく多くの人数でお乗りいただきたいが、現状では山上地区(関根方面)で1.77人、田沢地区で1.74人であり、他地区でもその程度の人数でお乗りいただきたいと考えている。また、乗合率は非常に重要であると捉えており、今後導入する地域においては、地域住民による組織で主体的に最適なダイヤを検討していただくなどし、乗合率の向上に向けて、市も共に話し合いながら進めていきたいとの答弁がありました。

また、委員から、戸籍住民基本台帳事務事業について、コンビニ交付サービスでの証明書交付件数が令和4年度は令和3年度に比べ約2倍になっており、全交付数に対する割合も6%から10%に上昇しているが、これをどう捉えているかとただされ、当局から、コンビニ交付サービスは令和2年度から始まったが、市民の中に定着してきており、利用者も大分増えてきている。マイナンバーカードのメリットを身近に感じる機会であり、現在コンビニでの証明書交付手数料を減額していることから、さらに周知に努めていきたいとの答弁がありました。

このほか、高齢者の運転免許の自主返納者への支援事業について、統計調査員確保対策事業等について、種々質疑・要望がありました。

次に、第3款民生費では、委員から、ひきこもりサポート事業について、ひきこもり支援プラットフォーム参画機関との連携を図ることが課題とのことだが、このプラットフォームにはどういった機関が参画しているのかとただされ、当局から、プラットフォームには、福祉関係以外にも、商工会議所や学校関係の機関が参画している。関係者の連携の場としてプラットフォームを位置づけたものの、定期的な情報交換の場の設定ができてい

ない現状があり、課題と捉えているとの答弁がありました。

また、委員から、医療的ケア児の保育所等への受入れ体制はどうなっているか。また、医療的ケア児の受入れに対するニーズをどう認識しているかとただされ、当局から、令和4年度から吾妻保育園において医療的ケア児1名を受け入れている。受入れに当たって、専任の看護師及び保育士を1名ずつ配置しているほか、訪問看護ステーションを利用しながら、医療的ケア児の対応を行っている。また、医療的ケア児の受入れに対するニーズを調べるため、社会福祉課と連携し、聞き取りなどを行っているところであるとの答弁がありました。

このほか、民生委員・児童委員の成り手不足について、高齢者等雪下ろし助成事業等について、種々質疑・要望がありました。

次に、第4款衛生費では、委員から、地盤沈下調査水準測量業務について、令和4年度はどのような調査を行ったか。また、緊急の要望や事案が発生した場合に調査できる体制になっているかとの質疑があり、当局から、市内の調査区域を4分割し、4年間で全ての区域を調査しており、令和4年度は西部・南部・中部地区で調査を行ったが、大きな沈下は見られなかった。また、近年は個別の調査依頼は受け付けていないが、基準点がある地域で生活上支障がある場合は、対応を検討していきたいとの答弁がありました。

このほか、健康のまちづくり推進事業、健康づくり事業について、種々質疑・要望がありました。

次に、第5款労働費では、委員から、就業・労働相談員配置事業について、内職紹介件数162件に対して採用件数が128件となっているが、この実績をどう捉えているかとただされ、当局から、内職を紹介した後に業務内容が合わず辞退する方もいるため、紹介件数より採用件数が低くなっているが、採用件数は年々伸びており、相当数のマッチングができていると捉えているとの答弁がありま

した。

このほか、米沢地域人材確保定着促進事業について、種々質疑がありました。

次に、第6款農林水産業費では、委員から、新規狩猟者免許取得等補助金については、どのような目的で行っているのかとの質疑があり、当局から、この補助金は猟友会の会員数を増やし、有害鳥獣の捕獲に力を入れていくために行っているものである。猟友会の会員は令和2年度の100名に対し、令和4年度は110名で10名増えており、年齢的にも若返りが図られていることから、補助金の効果が現れていると考えているとの答弁がありました。

このほか、農業次世代人材投資資金交付事業について、森林病虫害等防除事業等について、種々質疑・要望がありました。

次に、第7款商工費では、委員から、有機エレクトロニクス関連技術の産業化に関して、この事業の目的と進捗状況についてただされ、当局から、有機エレクトロニクス関連の企業を集積、育成し、次世代の基幹産業としていくことが最終目的である。リチウムイオン電池材料に関して山形大学発ベンチャー企業が事業化にめどがつくなど成果が出ているほか、山形大学と共同研究をしている県外企業が令和2年度に米沢オフィス・アルカディアへの進出を決め、現在、研究開発施設を建設しているところである。市としては、中長期的な視点で継続して支援し、新しい産業創出と雇用の増加が図られるよう進めていきたいとの答弁がありました。

このほか、米沢ブランド戦略事業について、食旅キャンペーン事業等について、種々質疑・要望がありました。

次に、第8款土木費では、委員から、除雪オペレーター育成支援事業費補助金の対象となるのはどういった事業所か。また、除雪を個人で請け負う方にも支援の対象を広げることはできないかとの質疑があり、当局から、この補助金の対象とな

るのは米沢市内の除雪業者であり、まずはこの補助金により、市道除雪の体制維持を図っていききたい。そちらが図られた後、個人で除雪する方への支援について考えていきたいとの答弁がありました。

このほか、危険ブロック塀等撤去支援事業費補助金について、官民連携まちづくり事業負担金等について、種々質疑・要望がありました。

次に、第9款消防費では、委員から、ハザードマップの浸水想定区域と実際の大雨で被害があった箇所の違いが見られたのではないかと思うが、そういった箇所を洗い出し、その違いをハザードマップに落とし込む作業はしたかとただされ、当局から、ハザードマップは、国、県で調べた外水被害を表しており、河川の氾濫や越水したときのためのマップとなっている。用水路や道路の冠水などに関しては内水被害となり、現在のマップには載っていないため、誤差が生じていると思われる。また、現在、内水被害に関するマップを作成するため、下水道が整備された区域の調査を行っているところであるが、下水道が未整備の区域については、今後検討していきたいとの答弁がありました。

このほか、災害用備蓄用品の更新等について、種々質疑・要望がありました。

次に、第10款教育費では、委員から、スクールガイダンスプロジェクト事業に関して、令和4年度において、先生やスクールソーシャルワーカーなどが集まり方針を決めるようなケース会議は行われたか。また、スクールカウンセラーがケース会議に入ることで問題を早期に発見することにつながると思うがどうかとただされ、当局から、様々な機関が連携して進めなければならない場合は、小まめにケース会議を実施している。また、子供の悩みに関する事案については、スクールカウンセラーの役割が大きいと思っており、そういった悩みへの対処について検討するに当たり、スクールカウンセラーに意見を求めるため、ケース会議

に入ってくださいことも可能であるが、現状としては、事前にスクールカウンセラーから意見等を聞き取った上でケース会議を行う等の工夫をしながら対応しているとの答弁がありました。

このほか、GIGAスクール構想について、小学校のトイレの洋式化等について、種々質疑・要望がありました。

次に、第11款災害復旧費では、委員から、農業用施設災害復旧事業の応急復旧業務について、令和4年度は国の補助を受けて矢子堰、遠山新堰、戸倉堰を復旧したが、この3つの堰はどこで管轄しているかとただされ、当局から、堰の多くは米沢平野土地改良区に属しており、その傘下の維持管理組合で管理しているが、矢子堰、遠山新堰、戸倉堰は米沢平野土地改良区に属していないため、それぞれの堰組合が管理しているとの答弁がありました。

また、委員から、矢子堰、遠山新堰、戸倉堰は、令和4年度に農業用施設災害復旧事業で応急処置を行ったが、本復旧については市の管轄外となり、それぞれの堰組合で直していくことになるのかとただされ、当局から、令和4年度は、8月の豪雨で堰が被害を受けたが、水田に水が必要なかんがい期であり、用水が止まると水稻の収穫の見込みが立たなくなるため、暫定的に水路をつなげて水を流す応急復旧を行ったところであり、本復旧については、令和5年度に市の災害復旧事業で行ったとの答弁がありました。

次の第12款公債費及び第13款予備費については、質疑がありませんでした。

次に、歳入では、委員から、都市計画税及び入湯税の用途状況に関して、入湯税は、観光施設等の整備及び観光振興のみに使われているということとだけとただされ、当局から、入湯税を充当できる事業としては、観光施設等の整備及び観光振興のほか、道路や消防施設の整備などがあるが、令和4年度は、観光施設等の整備及び観光振興に関する事業についてのみ充当したところであると

の答弁がありました。

このほか、ふるさと応援寄附金について、生活保護費返還金等について、種々質疑がありました。

以上が、一般会計歳入歳出決算の審査における質疑の主なものでありますが、本案については、意見もなく、全委員異議なく、認定すべきものと決しました。

続いて、特別会計について御報告申し上げます。

初めに、認第2号令和4年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算では、委員から、脳ドック検査費助成事業について、所得が低い方の助成額を増やすことはできないかとただされ、当局から、医療機関の一つでは、検査項目を絞った低額で検査できるコースもあることから、そちらでの検査も検討していただきたいと考えている。脳ドック検査は健康状態で行う予防的な検査であり、所得により助成額を増やすことは難しいが、今後検討していきたいとの答弁がありました。

このほか、特定健康診査事業について、国民健康保険財政調整基金等について、種々質疑がありました。

採決に当たっては、委員から、国民健康保険加入者は低所得者が多く加入しており、市民の方からも国民健康保険税は高いという声が多く聞かれる。令和4年度に税率が引き下げられたが、まだ足りないと考えている。さらなる税率の引下げ、加えて、応益割の引下げを行うべきだと考えていることから、本決算の認定には反対するとの意見がありましたので、起立採決を行った結果、賛成多数で認定すべきものと決しました。

次に、認第3号令和4年度米沢市後期高齢者医療費特別会計歳入歳出決算では、質疑はなかったものの、採決に当たっては、委員から、後期高齢者医療制度自体に反対であり、本決算の認定には反対するとの意見。

後期高齢者医療制度を廃止して、元の老人保健制度に戻す、あるいは、一般会計の保健事業の中でサービスを展開するなどし、後期高齢者医療制

度の保険料の軽減を検討していくべきだと考えていることから、本決算の認定には反対するとの意見がありましたので、起立採決を行った結果、賛成多数で認定すべきものと決しました。

次に、認第4号令和4年度米沢市介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算では、委員から、介護保険居宅サービス等利用者負担額助成事業について、利用者負担額は第1段階の方は2分の1、第2段階の方は3分の1の助成を受けられるが、利用件数と助成額が伸びていないことから、助成額の引上げを検討すべきだと思うがどうかとの質疑があり、当局から、現時点では、これらの助成額の割合を継続したいと考えているが、今後のサービスの供給や利用者の状況等を見ながら、引き続き検討していきたいとの答弁がありました。

このほか、米沢市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査等について、種々質疑・要望がありました。

採決に当たっては、委員から、市民の方から、利用料の負担が大きく、サービスを受けられないという声を聞いている。第9期介護保険事業計画について、市民の要求に沿った形で計画を策定していくには、多くの市民が議論に関わる仕組みをつくることで市民の声を生かしていく、そういった仕組みをつくる努力をしていくべきである。また、介護保険居宅サービス等利用者負担額助成事業については助成の拡充をしていくべきだと考えていることから、本決算の認定には反対するとの意見がありましたので、起立採決を行った結果、賛成多数で認定すべきものと決しました。

次に、認第5号令和4年度米沢市と畜場及び食肉市場費特別会計歳入歳出決算では、委員から、施設修繕費について、この内容は、機械の更新などは含まず、あくまでも修繕・保全に関するものか。また、老朽化した設備を使うことで消費電力が増えていくと思うが、修繕する中で、省電力・高効率設備に置き換えていくことは検討しているかとただされ、当局から、大きい修繕としては、と畜場内の空調冷蔵設備、冷蔵庫、危険部位の焼

却炉、スチーム給湯器の修繕などを行ったが、設備の更新というよりは、壊れて作業に支障が出ないよう早急に修復が必要な箇所を修繕している。また、新しい部品に交換すれば消費電力を若干減らすことができると思うが、消費電力を減らすためではなく、作業に支障を来さないように修繕しているところであるとの答弁がありました。

このほか、屠畜頭数の推移について、種々質疑がありました。

本案については、意見もなく、全委員異議なく、認定すべきものと決しました。

次に、認第6号令和4年度米沢市青果物地方卸売市場費特別会計歳入歳出決算では、委員から、学校給食での地場産野菜の利用に関して、市場関係者とどのような話合いをしたのか。また、今後、共同購入で扱う量や品目を増やした場合、農家の方が学校に直接納入する量や品目を確保できるかとただされ、当局から、学校給食における地産地消推進事業の中で、市場、商業組合、学校給食に携わっている方々と共同購入の品目を増やせないかという視点でお話しする機会を設けている。また、共同購入の品目が増えても学校に直接納入している農家の方が困るようなことはないと認識しているとの答弁がありました。

本案については、意見もなく、全委員異議なく、認定すべきものと決しました。

次の認第7号令和4年度米沢市物品調達費特別会計歳入歳出決算から認第10号令和4年度米沢市山上財産区費会計歳入歳出決算までの4案件については、質疑もなく、意見もなく、全委員異議なく、認定すべきものと決しました。

続いて、企業会計について御報告申し上げます。

初めに、認第11号令和4年度米沢市水道事業会計決算及び議第62号令和4年度米沢市水道事業会計剰余金の処分については、関連がありましたので、一括して審査いたしました。

審査においては、委員から、管路の更新率が、令和4年度は令和3年度の約半分にとどまってい

るが、この要因は何か。また、法定耐用年数を迎える管が相当数あるとのことだが、これに対する対策はどうかとただされ、当局から、令和4年度から始まった館山配水区受水施設整備事業と並行して管路の更新を進めていることから、更新率が低くなっている。また、法定耐用年数を過ぎても耐久性は十分確保されているが、耐震管と言われる最新の管路ではないことから、補助事業を活用しながら計画的に更新していきたいとの答弁がありました。

また、委員から、漏水は上下水道部で確認できるのか、それとも、市民からの連絡で確認できるのか。また、令和4年度は、空き家において漏水に対応した事例はあったかとただされ、当局から、漏水に関しては市民からの連絡で判明するのが8割近いが、本管の漏水であれば配水量の変化から発見される場合がある。また、空き家ではないが、冬期間居住していなかった家屋で、配水量の変化から漏水が疑われ、雪を掘って漏水を発見したという事例もあったことから、今後は、空き家における漏水を重要視していかなければならないと考えているとの答弁がありました。

このほか、給水原価の増加傾向について、米沢市新水道事業ビジョンについて、種々質疑がありました。

採決に当たっては、認第11号及び議第62号について、それぞれ採決を行った結果、全委員異議なく、認定・可決すべきものと決しました。

次に、認第12号令和4年度米沢市下水道事業会計決算では、委員から、下水道事業の計画は終了しており、追加となる場合は、新たな計画で実施するという認識でよいか。また、町内から要望があれば、その町内の同意を得た上で整備するのかとの質疑があり、当局から、下水道の区域拡大については、今のところ予定はなく、私道の下水道管の布設工事を行っている。また、下水道区域内に限られるが、地元から要望があれば整備について検討していきたいとの答弁がありました。

このほか、下水道使用料について、農業集落排水事業について、種々質疑がありました。

本案については、意見もなく、全委員異議なく、認定すべきものと決しました。

次に、認第13号令和4年度米沢市立病院事業会計決算では、委員から、経営指標の流動比率は、令和4年度が262.9%に対して、令和元年度は119.8%となっている。公立病院経営強化プランによって、資金繰りを検討していくことが必要だと思うがどうかとの質疑があり、当局から、令和4年度は、病院の建設に当たり、借入金と市からの繰入金が増加したことで、流動比率が上がったと考えている。流動資産は、現金預金が主になることから、医業収益の確保によって現金を得ることに努めたいとの答弁がありました。

このほか、公立病院経営強化プランについて、医療機器等整備について、種々質疑・要望がありました。

本案については、意見もなく、全委員異議なく、認定すべきものと決しました。

以上、当委員会に付託されました案件の審査経過の概要とその結果を申し上げ、委員長報告いたします。

○相田克平議長 ただいまの決算特別委員長報告に対し、御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長 質疑を終結いたします。

これより討論に入りますが、通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

お諮りいたします。

決算特別委員長報告中、異議のありました認第2号から認第4号までの議案3件を除く、認第1号、認第5号から認第13号まで及び議第62号の議案11件を委員長報告のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長 御異議なしと認めます。よって、認第1号、認第5号から認第13号まで及び議第62

号の議案11件は、委員長報告のとおり決まりました。

次に、異議のありました認第2号から認第4号までの議案3件について、順次起立により採決いたします。

初めに、認第2号について採決いたします。

認第2号に対する委員長報告は、賛成多数で認定であります。

お諮りいたします。

認第2号を委員長報告のとおり決するに賛成の議員は御起立ください。

[賛成者起立]

○相田克平議長 起立多数であります。よって、認第2号は委員長報告のとおり決まりました。

次に、認第3号について採決いたします。

認第3号に対する委員長報告は、賛成多数で認定であります。

お諮りいたします。

認第3号を委員長報告のとおり決するに賛成の議員は御起立願います。

[賛成者起立]

○相田克平議長 起立多数であります。よって、認第3号は委員長報告のとおり決まりました。

次に、認第4号について採決いたします。

認第4号に対する委員長報告は、賛成多数で認定であります。

お諮りいたします。

認第4号を委員長報告のとおり決するに賛成の議員は御起立願います。

[賛成者起立]

○相田克平議長 起立多数であります。よって、認第4号は委員長報告のとおり決まりました。

.....

日程第15 議第50号 市有財産（リチウムイオン電池材料試作拠点用地）の取得の一部変更につ

いて外3件

○相田克平議長 次に、日程第15、議第50号市有財産（リチウムイオン電池材料試作拠点用地）の取得の一部変更についてから日程第18、議第53号米沢市長選挙記号式投票に関する条例の廃止についてまでの議案4件は、議事の都合により一括議題といたします。

この場合、総務文教常任委員会における審査の経過と結果について報告願います。

総務文教常任委員長12番古山悠生議員。

[総務文教常任委員長12番古山悠生議員登壇]

○12番（古山悠生議員） 御報告申し上げます。

去る8月30日の本会議におきまして、当委員会に付託されました案件は、議案4件であります。

当委員会は、議会日程に従い、14日の午前10時から委員会室において、全委員出席の下、関係部課長に出席を求め、開会いたしました。

以下、審査の経過と結果について御報告申し上げます。

初めに、議第50号市有財産（リチウムイオン電池材料試作拠点用地）の取得の一部変更についてであります。本案は、平成24年9月定例会で財産の取得が議決され、現在取得代金の分割払いをしておりますリチウムイオン電池材料試作拠点用地について、株式会社飯豊電池研究所に対し売却するため、未払い額を一括で支払うことにより利息が減額することから、取得価格を5,274万1,027円から5,173万178円に101万849円減額しようとするものであります。

本案については、質疑もなく、意見もなく、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第51号市有財産（リチウムイオン電池材料試作拠点用地）の処分についてであります。本案は、リチウムイオン電池材料試作拠点用地6,098平方メートル余りを西置賜郡飯豊町大字萩生1725番地1、株式会社飯豊電池研究所代表取締

役 小野寺大輔に6,573万8,000円で売却しようとするものであります。

本案については、質疑もなく、意見もなく、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第52号米沢市指定金融機関の指定の変更についてであります。本案は、米沢市指定金融機関の指定を株式会社山形銀行米沢支店から株式会社山形銀行に変更しようとするものであります。

本案については、質疑もなく、意見もなく、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第53号米沢市長選挙記号式投票に関する条例の廃止についてであります。本案は、米沢市長選挙の当日投票において採用している記号式投票を廃止しようとするものであります。

本案については、質疑もなく、意見もなく、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、当委員会に付託されました議案4件の審査の経過と結果を申し上げ、委員長報告といたします。

○相田克平議長 ただいまの総務文教常任委員長報告に対し、御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長 質疑を終結いたします。

これより討論に入りますが、通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

お諮りいたします。

議第50号から議第53号までの議案4件を委員長報告のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長 御異議なしと認めます。よって、議第50号から議第53号までの議案4件は委員長報告のとおり決まりました。

.....

日程第19 議第54号米沢市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について外1件

○相田克平議長 次に、日程第19、議第54号米沢市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について及び日程第20、議第55号米沢市立病院使用料及び手数料条例の一部改正についての議案2件は、議事の都合により一括議題といたします。

この場合、民生常任委員会における審査の経過と結果について報告願います。

民生常任委員長4番関谷幸子議員。

〔民生常任委員長4番関谷幸子議員登壇〕

○4番（関谷幸子議員） おはようございます。御報告申し上げます。

去る8月30日の本会議において、当委員会に付託されました案件は、議案2件であります。

当委員会は、議会日程に従い、15日の午前10時から委員会室において、全委員出席の下、病院事業管理者及び関係部課長の出席を求め、開会いたしました。

以下、審査の経過と結果について御報告いたします。

初めに、議第54号米沢市病院事業の設置等に関する条例の一部改正についてであります。本案は、新病院の開院に伴い、市立病院の病床数を変更するとともに、規定の整備を図ろうとするものであります。

本案については、質疑もなく、意見もなく、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第55号米沢市立病院使用料及び手数料条例の一部改正についてであります。本案は、新病院の開院に伴い、入院室使用料の額を改定するとともに、規定の整備を図ろうとするものであります。

本案に対し、委員から、近隣の病院の入院室使

用料と比較して今回の料金設定は適正かとの質疑があり、当局から、公立置賜総合病院の場合、一番高い部屋の料金は、今回の設定の9,000円以内と同程度である。また、県内には、2万円を超える料金設定をしている病院もあるが、そうした事例では、浴槽やキッチンがある部屋や30平方メートルを超える部屋であるなど市立病院の病室とは大きく異なることから、今回の料金設定は、適正であると考えているとの答弁がありました。

また、委員から、分娩の際の入院室使用料の料金設定はどうかとただされ、当局から、分娩の場合、入院室使用料は消費税が非課税となるとの答弁がありました。

さらに、委員から、市立病院において、患者に個室使用料を請求できないのは、どのような場合かとの質疑があり、当局から、個室使用料を請求するには患者が個室の使用に同意していることが必要であり、患者が多床室を希望していた場合で、感染管理や術後などで医師の指示があり個室を使用した場合は、使用料は請求できず減免となるとの答弁がありました。

また、委員から、患者や家族が緊急入院などで動揺していた場合、個室使用の同意書を提出しなければ入院できないと誤解し、個室使用料の支払いでトラブルとなることが考えられるが、それはどのように防ぐのかとの質疑があり、当局から、そうしたトラブルが生じないように個室使用の同意書の中身について看護師が丁寧に説明しているとの答弁がありました。

本案については、意見もなく、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、当委員会に付託されました議案2件の審査の経過と結果を申し上げ、委員長報告といたします。

○相田克平議長 ただいまの民生常任委員長報告に対し、御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長 質疑を終結いたします。

これより討論に入りますが、通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

お諮りいたします。

議第54号及び議第55号の議案2件は委員長報告のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長 御異議なしと認めます。よって、議第54号及び議第55号の議案2件は委員長報告のとおり決まりました。

.....

日程第21 議第56号財産（圧雪車）の取得について外2件

○相田克平議長 次に、日程第21、議第56号財産（圧雪車）の取得についてから日程第23、議第58号市道路線の認定についてまでの議案3件は、議事の都合により一括議題といたします。

この場合、産業建設常任委員会における審査の経過と結果について報告願います。

産業建設常任委員長 8 番影澤政夫議員。

〔産業建設常任委員長 8 番影澤政夫議員登壇〕

○8 番（影澤政夫議員） 御報告申し上げます。

去る8月30日の本会議において、当委員会に付託されました案件は、議案3件であります。

当委員会は、議会日程に従い、19日の午前9時から委員会室において、全委員出席の下、関係部課長に出席を求め、開会いたしました。

また、市道路線として認定しようとする箇所について、審査に先立ち、現地調査を行いました。

以下、審査の経過と結果について御報告申し上げます。

初めに、議第56号財産（圧雪車）の取得についてであります。本案は、現在、天元台高原スキー場に配備している圧雪車が老朽化し、ゲレンデの整備に支障を来すおそれがあることから、これを更新しようとするものであります。

契約については、随意契約による物品購入契約とし、山形市東山形一丁目7番26号、日本ケーブル株式会社東北支店東北支店長 秋場貞彦と4,449万5,000円で仮契約を締結したので、本契約を締結しようとするものであります。

本案に対し、委員から、車両更新の目安となる使用年数は10年以上となっているが、今回更新する車両の維持管理費は使用年数によってどのように推移したかとの質疑があり、当局から、更新する車両の維持管理費に関しては、納入から5年程度は保守点検などで100万円程度かかっていたが、それ以降は油圧や電気系統、エンジンなどの故障により七、八年目には200万円を超え、9年目は450万円程度、昨年は360万円程度であったとの答弁がありました。

また、委員から、車両更新の目安となる使用年数が経過する前であっても、維持管理費が高額になってきた段階で更新することも検討すべきではないかとただされ、当局から、車両価格が高額であるため、更新後はできるだけ長く使用したいと考えている。定期的に保守点検を行う中で、保守点検業者の意見を伺いながら更新の時期を見極めていきたいとの答弁がありました。

本案については、意見もなく、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第57号財産（小型ロータリ除雪車）の取得についてであります。本案は、現在使用している小型ロータリ除雪車が老朽化し、除雪作業に支障を来すおそれがあることから、これを更新しようとするものであります。

契約については、指名競争入札による契約とし、2業者による入札を行った結果、山形市大字十文字1128番地1、昭和建機株式会社代表取締役 石川清が3,608万円で落札し、仮契約を締結したので、本契約を締結しようとするものであります。

本案に対し、委員から、今回更新する車両は、新たな車両を取得した後も使用し続けるのかとの質疑があり、当局から、更新する車両は稼働する

限り使用する予定であるが、稼働できない状態になれば下取りなどでの処分を考えているとの答弁がありました。

本案については、意見もなく、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議第58号市道路線の認定についてであります。本案は、一般申請に伴い1路線を新規認定しようとするものであります。

本案に対し、委員から、今回認定する路線の周辺は、以前は空き地があり雪押し場として利用してきたが、開発により住宅等が増え、雪押し場が少なくなっていると思うが、除雪はどのように考えているかとの質疑があり、当局から、市としては、開発業者から宅地等を購入する方に対して除排雪協力会の設立を働きかけてもらえるよう、開発業者に協力をお願いしている。また、宅地等が完売になるまでは空き地を雪押し場として使わせてもらえるように協議しているとの答弁がありました。

また、委員から、除排雪協力会が設立されなかった場合はどのように対応するのかとの質疑があり、当局から、各地区における除雪説明会でも除排雪協力会の設立が困難であるとの話を伺っている。空き家や空き地が増加している傾向を踏まえ、今後、そういった土地の利活用を研究していきたいとの答弁がありました。

本案については、意見もなく、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、当委員会に付託されました議案3件の審議の経過と結果を申し上げ、委員長報告といたします。

○相田克平議長 ただいまの産業建設常任委員長報告に対し、御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長 質疑を終結いたします。

これより討論に入りますが、通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

お諮りいたします。

議第56号から議第58号までの議案3件を委員長報告のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長 御異議なしと認めます。よって、議第56号から議第58号までの議案3件は委員長報告のとおり決まりました。

.....

日程第24 議第59号令和5年度米沢市
一般会計補正予算（第6号）
外3件

○相田克平議長 次に、日程第24、議第59号令和5年度米沢市一般会計補正予算（第6号）から日程第27、議第63号令和5年度米沢市一般会計補正予算（第7号）までの議案4件は、議事の都合により一括議題といたします。

この場合、予算特別委員会における審査の経過と結果について報告願います。

予算特別委員長20番佐藤弘司議員。

〔予算特別委員長20番佐藤弘司議員登壇〕

○20番（佐藤弘司議員） 御報告申し上げます。

去る8月30日及び9月6日の本会議において、当予算特別委員会に付託されました案件は、議案4件であります。

当委員会は、議会日程に従い、20日午前10時から議場・委員会室において、全委員出席の下、当局から市長をはじめ教育長、関係部課長等にも出席を求め、審査を行いました。

なお、議案の内容につきましては、市長の説明要旨や事項別明細書等で各議員御承知のことと存じますので、その説明を省略させていただき、以下、審査経過の中でありました質疑等の主なものと、その結果を取りまとめて御報告申し上げます。

初めに、議第59号令和5年度米沢市一般会計補正予算（第6号）の歳出については、補正予算の提案があった款項のほか、事前に質問通告のあつ

た款項についても質疑が行われました。

第2款総務費では、広報よねざわ配達業務委託料の再契約の契約金額は、どのように算出したのかとして質疑がありました。

また、この業務委託の再契約を考える際に、各コミュニティセンターで月に何回か地区委員を回る仕事があると聞いているが、各コミュニティセンターで配っていただくということは検討されたのかとして質疑がありました。

さらに、補正のあつた款項に関連し、再来年は戦後80年の節目の年になる。70年のときのように、多くの市民が参加できるような事業をすべきと思うがどうかとして質疑がありました。

また、補正のあつた款項に関連し、コミュニティセンターの利用については、使用予定日の前日まで申請しなければならないが、体育施設は、当日、利用申請ができる。この違いについて、どのように考えているのかとして質疑がありました。

さらに、補正のあつた款項に関連し、米沢市国際交流協会における、日本語教室の利用者の実績や内容はどのようになっているのかとして質疑がありました。

第3款民生費では、補正のあつた款項に関連し、この夏は大変な猛暑だったが、低所得者世帯や生活保護世帯のクーラー設置状況はどのように把握しているのかとして質疑がありました。

第4款衛生費では、栗子山に風力発電用の風車10基の設置が予定されている。この開発に関して本市にいつ頃相談があり、どのような経過だったのか。また、発電設備の影響による電波障害が発生した場合の対策など、前もって、地元の方々と合意形成を図るつもりでいるのかとして質疑がありました。

また、補正のあつた款項に関連し、本市の地域医療を考えると、今後ますますかかりつけ医の役割が重要になってくる。市内の診療所数の近年の推移と今後の見込み、診療科ごとの傾向や課題はあるのか。また、本市では、現在、診療所を開設

する際の支援はあるのかとして質疑がありました。

第6款農林水産業費では、産地生産基盤パワーアップ事業費補助金について、麦・大豆の生産に係る機械の導入補助ということだが、今後、市内で品質の良い小麦を生産してもらい、さらには生産拡大に向けて推進していただきたいが、その見通しや農地の確保についてはどのように考えているのかとして質疑がありました。

また、旧森林体験交流センターの譲渡額について、土地の評価額に対し、あまりにも低い金額で譲渡する予定になっているが、再度検討すべきではないかとして質疑がありました。

事前の通告があった第9款消防費では、避難所における適切な食事の確保のための学校給食施設等の活用について、令和5年6月22日付で、内閣府及び文部科学省から都道府県宛てに依頼文書が出されているが、この依頼に基づき、災害が起こった場合、避難所として学校給食の調理場を食事提供に活用するという方向で実施すべきだと思うが、教育委員会としてはどのように考えているのか。

事前の質問通告があった第10款教育費では、生活様式の変化で自宅のトイレは洋式が当たり前になってきているが、小学校のトイレの現状はどうなっているのかとして質疑がありました。

また、事前の質問通告により、学校給食共同調理場の整備運営をPFI方式で行うことになっているが、現在の物価高や人件費等の高騰により、全国では事業者が大変厳しい運営を迫られているという報道がなされている。さらなる物価高騰を見据え、当初の整備・運営計画の見直しの必要性について現段階でどのように捉えているのかとして質疑がありました。

さらに、事前の質問通告により、置賜総合文化センターホールの空調設備の故障について、先日も劇団の公演のため貸し館していたが、劇団では、暑さ対策としてうちわを配っていたようである。早急の対応が必要だと思うが空調設備の修繕計画

はどのようになっているのかとして質疑がありました。

歳入では、第16款財産収入について、産業用地基金ができる以前の購入地の土地の売払い収入ということで6,573万8,000円を計上しているが、産業用地の売払いであり、産業用地基金で処理したほうが明瞭な会計になると思うがどうかとして質疑がありました。

また、第20款諸収入について、新聞紙等の資源物の売払いは市の収入になるが、ペットボトル等の資源物売払いの収入が市に入らないのはなぜか。歳入として本市で確保すべきであり、しっかりと調査の上実施すべきと思うがどうかとして質疑がありました。

以上が、議第59号令和5年度米沢市一般会計補正予算（第6号）に対する審査の経過の中でありました質疑の主なものでありますが、議第59号につきましては、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決まりました。

次に、議第60号令和5年度米沢市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）につきましては、質疑もなく、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決まりました。

次に、議第61号令和5年度米沢市介護保険事業勘定特別会計補正予算（第1号）では、介護保険給付基金積立金の適正額はどのように決めているのかとして質疑がありましたが、議第61号につきましては、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決まりました。

次に、議第63号令和5年度米沢市一般会計補正予算（第7号）の歳出であります。低所得世帯の冬的生活応援事業の対象者について、本市は東日本大震災に伴う避難者も対象にしているが、県内の状況はどうかとして質疑がありましたが、議第63号につきましては、全委員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決まりました。

以上、当予算特別委員会に付託されました議案の審査経過の概要と結果を申し上げ、委員長報告

といたします。

以上でございます。

○相田克平議長 ただいまの予算特別委員長報告に対し、御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長 質疑を終結いたします。

これより討論に入りますが、通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

お諮りいたします。

議第59号から議第61号まで及び議第63号の議案4件を委員長報告のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長 御異議なしと認めます。よって、議第59号から議第61号まで及び議第63号の議案4件は委員長報告のとおり決まりました。

ここで暫時休憩いたします。

再開は午前11時16分といたします。

午前11時06分 休 憩

午前11時16分 開 議

○相田克平議長 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第28 発議第6号燃油価格の抑制を
求める意見書の提出について

○相田克平議長 次に、日程第28、発議第6号燃油価格の抑制を求める意見書の提出についてを議題といたします。

この場合、提出者から提案理由の説明を求めます。

提出者 9 番山村明議員。

〔9 番山村 明議員登壇〕

○9 番（山村 明議員） ただいま上程になりました発議第6号燃油価格の抑制を求める意見書の提出についてであります。

食料品をはじめとする物価が値上がりになっております。中でも、ガソリンをはじめとする燃油価格は値上がりの幅、率とも著しいものがあり、市民の生活、家計を圧迫しております。加えて、原油など輸入品の価格に大きく影響する円ドル為替が円安に動き続けております。燃油価格を取り巻く状況と家庭、中小企業の経営、経済は厳しい影響を受けております。

以下、意見書案を朗読して、提案理由の説明に代えさせていただきます。

〔別紙 発議第6号朗読〕

以上であります。議員各位の御賛同をお願い申し上げます。

○相田克平議長 ただいまの提出者説明に対し、御質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長 質疑を終結いたします。

次に、議員間討議を行います。議員間討議の御希望はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長 なければ、議員間討議を終結いたします。

これより討論に入りますが、通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

お諮りいたします。

発議第6号を原案のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○相田克平議長 御異議なしと認めます。よって、発議第6号は原案のとおり決まりました。

日程第 2 9 議員派遣について

○相田克平議長 次に、日程第29、議員派遣についてを議題といたします。

議員派遣につきましては、会議規則第167条第1項の規定により、配付しておりますとおり決定いたしますので、御了承願います。

.....

市長挨拶

○相田克平議長 以上で本定例会に付議されました案件は全部議了いたしました。

閉会前に、市長から発言を求められておりますので、これを許可します。中川市長。

〔中川 勝市長登壇〕

○中川 勝市長 市議会 9 月定例会の閉会に当たり、一言御挨拶申し上げます。

去る 8 月 30 日に招集いたしました本定例会は、本日、全日程を終了いたしました。28 日間にわたる会期中、令和 4 年度一般会計及び特別会計並びに公営企業会計の各決算の認定、補正予算など、数多くの案件について、終始真剣な御審議をいただき、厚く御礼を申し上げます。

また、審議の過程で賜りました重要な御指摘、御意見等につきましては、十分受け止めさせていただき、今後の市政執行において生かしていきたいと考えております。

さて、このたび、令和 4 年度の各会計の決算を認定いただきましたが、最終的な修正実質単年度収支については 0.8 億円の黒字となり、3 年連続の黒字となりました。

一方で、経常収支比率につきましては、普通交付税の減額などにより、94%と上昇が見られ、企業会計を含めた全会計の地方債の年度末現在高も増加傾向にあることから、今後の財政状況を注視

していく必要があります。

健全な財政を維持しつつも、必要な事業については着実な実施が図れるよう、引き続き歳入の確保とともに、事業の効率化の推進に努めてまいります。

なお、現在も続いている物価高騰から市民の生活や市内経済を支える対策はもとより、国の景気対策などにより、場合によっては、緊急の予算措置等の対応が必要となることも考えられますので、議員各位の御理解と御協力をよろしくお祈りを申し上げます。

結びになりますが、今年の夏はこれまでにない酷暑となりましたが、その残暑もようやく落ち着いてきました。議員各位におかれましては、今後とも御自愛いただきますとともに、御健勝をお祈り申し上げ、お礼の挨拶とさせていただきます。

誠にありがとうございました。

.....

閉 会

○相田克平議長 これをもちまして令和 5 年 9 月定例会を閉会いたします。

午前 1 1 時 2 6 分 閉 会